

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第23回ばら制定都市会議 (ばらサミット)
事業主体 (連絡先)	第23回ばら制定都市会議実行委員会 (事務局：中野市建設水道部都市計画課)
事業区分	地域協働の推進、産業振興、雇用拡大
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,883,039円 (内支援金 2,633,000円)

事業内容

1 ばら制定都市会議

日時 平成26年6月12日(木)～13日(金)

会場 アップルシティーナかの及び一本木公園

- 内容
- ・ばら制定都市事例発表
参加9都市のバラによるまちづくりの事例発表
 - ・記念講演
講師 バラ育種家 河合伸志氏
 - ・アトラクション
レインボーズ中野によるハーモニカ演奏
 - ・近隣市町村等のPRブース設置
 - ・記念植樹
ばら制定都市会議出席首長等による記念植樹
 - ・ラジオ生中継
SBCラジオ
「坂ちゃんのずくだせえぶりでい」生中継

参加人数 90名

2 土びなもサミット展

開催日 平成26年6月7日(土)～22日(日)

会場 中野勤労者福祉センター

来場者数 1,133名



【ばら制定都市会議】



【土びなもサミット展】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 実行委員会を組織し、企画から参画することで、まちづくりの意識向上が図られた。
また、各ばら制定都市の事例発表、意見交換、専門家による講演により、知識・技術の向上が図られた。
- ② ばら制定都市会議及び各ばら制定都市について、パンフレット、ラジオ中継等で紹介し、情報を市内外に発信することができた。
また、近隣市町村等にもPRに参加を呼び掛け、各市町村のPRを行ったことにより連携を深められた。
- ③ 土びなもサミット展の開催により、土人形の魅力を伝えると共に、中心市街地への誘客にもつながった。

【目標・ねらい】

- ① 官民一体となったバラによるまちづくりの意識向上及びバラ栽培に関する技術向上
- ② 全国のばら制定都市及び近隣市町村との連携
- ③ 観光客の中心市街地への誘客

※自己評価 【A】

【理由】

企画から参画するため実行委員会を組織したことにより、実行委員が積極的に活動し、官民一体となったまちづくりの意識向上が図られ、今後の活動にも繋がる事業となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・バラによるまちづくりの推進
- ・ばら制定都市会議への加入推進

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある